「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

日時：令和８年９月１７日（木）１４時００分～１５時００分
場所：市役所５階中会議

① 新井財産区基金の有効活用について

② 消防団新井第４分団について

③ 国道バイパス１３５号線の暴走行為について

④ 私有地から道路へ垂れ下がっている樹木について

⑤ 新井地区の急傾斜地崩壊危険区域について

⑥ 外国人の人口増加に係る支援体制について

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

意　　見
新井財産区基金の有効活用について 新井区が抱える課題の中でも人口減少が一番の重要課題ですが、このままでは新井区の機能不全に陥ると考えられ、遅ればせながら今年から新井未来会議を発足し、将来の新井区をどうしたいか議論しています。そこで課題となるのが何をやるにしても資金不足で話が停滞してしまうことです。 そこで新井財産区の基金を活用したいと考えていますが、具体的な方法について教えてください。
回　　答
新井財産区の基金を地域活性化のために有効活用する方法としましては、財産区の予算において「寄附金」として予算計上し、町内会などの地域団体、その他公共性の高い団体に対して寄附を行うことが可能です。 **例えば、町内会が地域交流の活性化を目的として「居場所づくり事業」を実施するとして、財産区から町内会へ寄附を行い、その寄附金を事業の財源として活用していただく方法が考えられます。** **なお、実際にどのような事業を実施するのか、また、どの団体に対して寄附を行うことができるのかなど、具体的な事業内容や寄附先、予算計上の方法等につきましては、資産経営課までご相談いただければ、制度上の取り扱いを含めてご説明させていただきます。** **地域活性化に向けた財産区基金の有効な活用方法について、一緒に検討できればと考えておりますので、ぜひご相談ください。**

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

意　　見
消防団新井第４分団について 新井区の人口減少により、消防団員のなり手不足が顕著です。以前から各団の統合の話がでていましたが、現在の状況について教えてください。
回　　答
新井第４分団につきましては、人口減少等に伴う団員のなり手不足により、消防団の運営が厳しい状況にあることは、市としても承知しております。 消防団全体の再編につきましては、昨年度から危機対策課と消防団幹部を中心に協議を進めるとともに、消防団員を対象としたアンケートを実施しました。 その結果、第４分団については、今後、統廃合を含めた再編について検討していくこととなりました。 一方で、第４分団の統合については、統合先となる分団との調整が必要となるため、単純に統合を進めることができないという事情があります。また、廃団についても、第４分団をなくすことが地域の消防力の維持という観点から適切なのか、慎重に検討する必要があります。 そのため、昨年度は消防団幹部との協議を重ねましたが、統廃合について具体的な方向性を決定するまでには至っておりませんでした。 今年度は、新たに方面隊単位での再編について検討を進めております。現在、第１方面隊の副団長を中心に、第１方面隊に所属する６個分団の団員から意見を集約し、今後の消防団再編についての案を取りまとめ、市へ提示していただくようお願いしております。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

今後、消防団から提示された案と市の考え方を、今年度予定されている消防団との協議の中ですり合わせながら、再編の方向性について検討していきたいと考えております。

その上で、一定の方向性がまとまりましたら、地域の皆様に、市もしくは、消防団から改めてご説明させていただきたいと考えております。

その際には、地域としてどのような方向性が望ましいのか、また、ご意見やご懸念などについて、地域の皆様からもお伺いしながら、今後の対応について検討してまいります。

また、現在、消防団が抱えている課題の一つとして、消防団詰所の老朽化がございます。

これまで市としては、現在の詰所や分団の体制をできる限り維持するという考え方を基本としてきましたが、今後は、現在の詰所の位置や既存の施設にとらわれることなく、市が新たに詰所を整備することも含め、消防団の再編について検討していく必要があると考えております。

消防団を維持することだけを前提とするのではなく、地域の消防力を将来にわたって維持していくために、詰所の整備と消防団の再編を一体的に考えながら、消防団と協議を進めているところです。

今後も消防団員の皆様や地域の皆様の意見を十分に聞きながら、市としても地域の消防力を維持するための消防団再編に向けて検討してまいります。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

意　　見
国道バイパス１３５号線の暴走行為について 国道バイパスの神浦トンネルから新井東町の信号交差点までかなりのスピードを出す車や、交差点付近での暴走行為（空ぶかしや爆音）が頻繁にあるため、取り締まりを強化するように警察署に働きかけをしてほしいです。
回　　答
国道における速度超過や交差点付近での危険走行につきましては、いただいた情報を関係機関と共有するとともに、警察に対し、当該地域における交通違反の取締りやパトロールの強化など、必要な対策を講じていただくよう働きかけてまいります。 今後も、関係機関と連携しながら、交通事故の防止と安全・安心な道路環境の確保に努めてまいります。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

意　　見
私有地から道路へ垂れ下がっている樹木について
斜面や擁壁の上の私有地から樹木が道路へ垂れ下がっている箇所があり、定期的に建設課に報告をしていますが、車両の通行には支障がないとのことで一旦様子を見ていただいているところです。今後も定期的に点検してもらい、必要があれば適切な対応していただき、地域住民が安全に通行できるようにしてもらいたいです。
回　　答
私有地の樹木等につきましては、原則として土地の所有者に適正に管理していただくことを基本としており、市からも必要に応じて所有者に適正な管理をお願いしております。 一方で、樹木の垂れ下がり等により、道路を通行する車両や歩行者の安全に支障を及ぼすおそれがある場合には、安全確保の観点から、市において必要な対応を行うこともあります。 今後につきましても、通行の安全確保を図るため、該当箇所について定期的に状況を確認するとともに、危険性が認められる場合には、必要に応じて所有者への適正管理の依頼や市による対応を行ってまいります。 また、市民の皆様におかれましても、樹木の垂れ下がりなど、通行上危険と思われる箇所やお気づきの点がございましたら、引き続き建設課へご連絡いただきますようお願いいたします。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

意　　見
新井地区の急傾斜地崩壊危険区域について 新井地区のほぼ全域で急傾斜地危険地域となっていますが、少しずつでも安全対策を取ってもらい、新井地区を安心・安全な場所として人を呼び込みたいと思っていますので、対応をお願いします。
回　　答
がけ崩れから人命等を守るため、急傾斜地崩壊危険区域に指定された箇所において、擁壁工や法面工などの崩壊防止工事を実施する「急傾斜地崩壊対策事業」を静岡県が実施しております。 今後、対策を希望する箇所等がございましたら、まずは市へご相談ください。現地の状況を確認したうえで、事業の対象となる可能性や必要な手続き等についてご案内いたします。 なお、事業の実施にあたっては、受益者負担金が生じますので、具体的な箇所や内容について、まずは市へご相談いただきますようお願いいたします。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（新井区）

意　　見
外国人の人口増加に係る支援体制について 伊東市では、外国人の人口が年々増加している中で、市役所として、外国人に対する支援窓口の設置や防災・防犯講座をしていくべきではないかと考えます。 今後どのような支援体制を考えていますでしょうか。
回　　答
伊東市では、外国人市民の暮らしやすい環境づくりのため、ケーブルテレビによる英語放送及び日本語教室について、国際交流協会を通じて実施しておりますが、外国人市民の人口が年々増加していることを踏まえ、今後の市役所として、外国人市民が生活上の困りごとなどについて相談できる窓口機能を整備するとともに、必要な情報を分かりやすく届けられる体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。 また、災害時の対応についても、外国人市民が必要な情報を確実に受け取ることができるよう、伊東市国際交流協会の協力や、デジタル技術や AI なども活用し、英語・中国語などによる避難情報をメールマガジン等で配信する取り組みも進めているところです。 今後も、外国人市民の皆様が地域の一員として安心して暮らすことができるよう、相談支援、防災・防犯、情報発信など、さまざまな分野で関係機関や市民の皆様と連携しながら、支援体制の充実に取り組んでまいります。